

2020年4月23日

大阪経済記者クラブ会員各位

「医療・介護資材 SOS マatchingサービス」の開始について

～医療機関で不足する防護服や医療用マスクを提供できる企業とマatching～

【お問合せ】 大阪商工会議所産業部
ライフサイエンス振興担当（根来・竹中・常深）
TEL 06-6944-6484 / 090-8752-6395(4/24 迄)

- 大阪商工会議所は、新型コロナウイルスの影響により医療や介護現場等で不足する医療資材のニーズと、企業からの提案をマatchingする「医療・介護資材 SOS マatchingサービス」を4月23日より開始する。
- 本会議所が運営する、産学医・産産連携による医療機器等開発促進プラットフォーム「次世代医療システム産業化フォーラム（以下、MDF）※1」と、全国の商工会議所・商工会が運営する商取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」内で緊急販路開拓支援を行う「BM SOSモール※2」が連携し実施するもの。こうした医療資材のマatchingの仕組みをつくるのは、全国の経済団体で初めて。
- MDFが有する全国の医療機関等とのネットワークを活かして、医療現場のニーズを収集し、SOSモールに掲載するとともに、MDF会員企業にはメール等で情報提供。ニーズに対応できる企業からの提案を医療機関へ紹介する。（添付イメージ図参照）
- 既に、複数の医療機関から、防護服や医療用マスク等を求める声が届いており、直ちにニーズを提供していく。
- なお本取り組みは、当面5月末まで実施する予定だが、必要に応じて延長を検討する。

※1 「次世代医療システム産業化フォーラム（MDF）」

大阪商工会議所が全国に先駆け2003年より実施する産学医・産産連携による医療機器等開発促進プラットフォーム。全国の大学や医療機関等から課題を発表し、企業が解決を図る医工連携マatching例会を中心に事業化支援も充実 <http://www.osaka.cci.or.jp/mdf/>。大学・医療機関152、企業137社が登録（2019年度）。

※2 「BM SOS モール」

「ザ・ビジネスモール」は、全国の商工会議所・商工会が運営する商取引支援サイト。大阪商工会議所が運営事務局を務め、26万社を超える企業が登録している。 <https://www.b-mall.ne.jp/>

「BM SOS モール」は、新型コロナウイルス関連により経済的に打撃を受けている中小企業の販路開拓を支援するために「ビジネスモール内に期間限定（2020年3月11日～5月31日）で設置した特設モール。 <https://www.b-mall.ne.jp/sos/>

<添付資料>医療・介護資材 SOS マatchingサービス イメージ図

以上

BM SOSモール×次世代医療システム産業化フォーラム(MDF)】
医療・介護資材SOS マatchingサービス

事務局（大阪商工会議所）

MDF（次世代医療システム産業化フォーラム）※



ザ・ビジネスモール（BM）※



自治体・医療現場等のニーズ

企業の製品・シーズ

マatching&課題解決

※MDF（次世代医療システム産業化フォーラム）：全国最大規模の産学医・産産連携による医工連携等開発促進プラットフォーム
※ザ・ビジネスモール：日本各地の商工会議所会員企業同士がネット上で商談できるサービス（登録事業所数約26万社）